

# ヒトにおけるストレスレジリエンスの神経生理ダイナミクス理解 Understanding Neurophysiological Dynamics of Stress Resilience in Humans

渡邊 言也先生

静岡理工科大学 情報学部 准教授



日時： 2023年3月27日（月）午後4時30分～午後6時

場所：神戸大学大学院医学研究科 研究棟B 2階・共同会議室

心的レジリエンスは、ストレス環境への適応能力であり、精神的に健康な生活を営むためには欠かせない要素である。近年のモデル動物を用いた研究は、この能力が単なる心理学の一概念ではなく、実際に脳と身体の反応として存在することを証明してきた。しかしながら、ヒトにおいては、レジリエンスを特徴づける神経生理学的変化についての報告は未だに乏しい。本研究では、急性ストレス負荷と、様々な生理反応の同時計測（fMRI, EEG, Pupil, ECG, Resp, Cortisol）を組み合わせることで、レジリエンスの個人差に一致した変化を複数発見した。講演の中では、今回発見したヒトレジリエンスの特徴と、これまで動物研究で見出された特徴との一致点や相違点についても共に議論したい。

## 参考文献

1. Noriya Watanabe, Masaki Takeda. Neurophysiological Dynamics for Psychological Resilience: A View from the Temporal Axis. **Neuroscience Research** 175, 53-61 (2022).